

a journal



NAGOYAKINEMA
NEU

ナゴヤキネマ・
ノイ

7 2026
月号

〒464-0850

名古屋市千種区今池 1-6-13
今池スタービル 2F

Tel.052-734-7467
https://nk-neu.com

7月の定休日
火曜日

7/7・14・
21・28

毎月発行

RESERVATION

■各作品の10日前から上映1時間前までは公式サイトからプリペイドで席のご予約ができます。

■現金でのご購入、特別鑑賞券、ご招待券をご使用の方は、10日前から当日までの窓口受付(座席指定)をご利用ください。

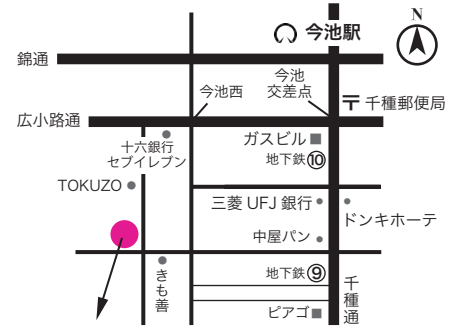
PLATFORM



公式サイト 公式 Facebook 公式 X 公式 Instagram
@nkn_2024 @nkn_2024

上映スケジュール表は2面をご覧ください

ACCESS



ナゴヤキネマ・ノイ

- ▶地下鉄今池駅⑨・⑩番出口より徒歩3分
- ▶今池スタービル2F(契約駐車場なし)

6.20(土)~
7.10(金) 『日泰食堂』

監督: 洗滌橋 / フランキー・シン (2024年 83分)



6.27(土)~ 没後40年 アンドレイ・タルコフスキー
7.10(金) 超越の映像 2026 《5プロ/入替》



- ①ローラーとバイオリン (1960年 46分)
僕の村は戦場だった (1962年 94分)
 - ②アンドレイ・ルブリョフ (1967年 182分)
 - ③惑星ソラリス (1972年 165分)
 - ④鏡 (1975年 110分)
 - ⑤ストーカー (1979年 163分)
- ※②と④は 7/3(金)まで。

7.4(土)~10(金) 『ゆずり葉の頃』

監督: 中みね子 (2014年 102分)



7.4(土)~17(金) 『ピトゥーカ ミルトン・ナシメント
フェアウェルツアー』

監督: フラヴィア・モラエス (2025年 115分)



7.4(土)~10(金) 『PEAK END』

監督: シン・チェリン (2025年 120分)

●舞台挨拶: 7/4(土) シン監督、伊丹そらさん(主演)、清水歩夢さん(撮影)、西尾千裕さん(編集)



7.11(土)~
ロベール・ブレッソン傑作選

《5作品/入替》

- ①スリ (1959年 76分)
- ②バルタザールどこへ行く (1966年 96分)
- ③少女ムシエット (1967年 82分)
- ④白夜 (1971年 83分)
- ⑤ラルジャン (1983年 85分)

※①と⑤は 2K レストア版、②~④は 4K レストア版です。

7.11(土)~24(金) 『マザーランド
MOTHERLAND』

監督: トーマス・ヴェングリス (2019年 96分)



7.11(土)~17(金)
伊藤高志 劇映画特集

《5プロ/日替》

●アフタートーク: 7/11(土) 伊藤監督、岩崎宏俊さん(美術家・映像作家)

- ①『遠い声』 (2024年 53分 最新作)
- 『最後の天使』 (2014年 33分)
- ②『遠い声』 (2024年 53分)
- 『甘い生活』 (2010年 23分)
- ③『零へ』 (2021年 72分)
- ④短編集I 『SPACY』ほか (計70分)
- ⑤短編集II 『12月のかくれんぼ』ほか (計77分)



7.18(土)~
31(金) 新宿ハードコア傑作選 《2作品/日替》

- ①トゥインクル・トゥインクル・キラー・カーン (ウィリアム・ピーター・ブラッティ 1980年 118分)
- ②オニオン・フィールド (ハロルド・ベッカー 1979年 120分)



7.18(土)~24(金)
『イト・ザ・ナイト』

監督: キャロリーヌ・ボギ、
ジョンナ・ピネル
(2024年 107分)



7.25(土)~ 『聴く隣人のいるところ』

監督: 早川嗣 (2026年 111分)
●舞台挨拶: 7/26(日) 早川監督



7.25(土)~ 『わたしの聖なるインド』

監督: ノウシーン・ハーン (2023年 74分)
●アフタートーク: 7/25(土) 藤本高之さん(イスラーム映画祭主宰)



7.25(土)~
ホセ・ルイス・ゲリン監督
最新作
『よき谷の物語』

- ①よき谷の物語 (2025年 122分)
- 8.1(土)~
- ②シルビアのいる街で (2007年 85分)



7月上映スケジュール表

※7/7・14・21・28(火)は休館です。

7/4(土)～10(金)

	7/4(土)	5(日)	6(月)	8(水)	9(木)	10(金)
10:30	『ゆずり葉の頃』(追悼リバイバル上映)					
12:30	⑤ストーカー	③惑星ソラリス	①ローラーとバイオリン他	⑤ストーカー	③惑星ソラリス	①ローラーとバイオリン他
15:30	『ビトゥーカ ミルトン・ナシメント フェアウェルツアー』					
17:40	『日泰食堂』					
19:20	『PEAK END』					

7/11(土)～17(金)

	7/11(土)	12(日)	13(月)	15(水)	16(木)	17(金)
11:00	⑤ラルジャン	①スリ	②バルタザールどこへ	⑤ラルジャン	④白夜	①スリ
12時台	12:45④白夜	12:40③少女ムシエット	12:50⑤ラルジャン	12:45②バルタザール	12:50①スリ	12:40⑤ラルジャン
14:45	『MOTHERLAND マザーランド』					
16:45	『ビトゥーカ ミルトン・ナシメント フェアウェルツアー』					
19:00	①「遠い声」他★トーク	③「零へ」	④短編集Ⅰ	⑤短編集Ⅱ	②「遠い声」「甘い生活」	①「遠い声」「最後の天使」

7/18(土)～24(金)

	7/18(土)	19(日)	20(月)	22(水)	23(木)	24(金)
11:00	『MOTHERLAND マザーランド』					
13:00	①トゥインクル・トゥインクル	②オニオン・フィールド	①トゥインクル・トゥインクル	②オニオン・フィールド	①トゥインクル・トゥインクル	②オニオン・フィールド
15:15	①スリ	⑤ラルジャン	⑤ラルジャン	①スリ	⑤ラルジャン	③少女ムシエット
16・17時台	16:50②バルタザール	17:00④白夜	17:00①スリ	16:50⑤ラルジャン	17:00②バルタザール	17:00④白夜
19:00	『イト・ザ・ナイト』					

7/25(土)～31(金)

	7/25(土)	26(日)	27(月)	29(水)	30(木)	31(金)
10:30	『聴く隣人のいるところ』					
13:10	←※7/25(土)のみ12:40上映開始。『わたしの聖なるインド』					
14:45	ホセ・ルイス・ゲリン監督最新作『よき谷の物語』					
17:10	⑤ラルジャン	①スリ	⑤ラルジャン	②バルタザール	③少女ムシエット	④白夜
19:10	①トゥインクル・トゥインクル	②オニオン・フィールド	①トゥインクル・トゥインクル	②オニオン・フィールド	①トゥインクル・トゥインクル	②オニオン・フィールド

ご入場料金・入替制

一般1800円 大学生・会員1400円 高校生以下1000円 シニア(60歳以上)1300円
障がい者・会員(シニア・学生)1100円 ペア割(2名)2800円
○会員サービスディ:木曜日 会員・障がい者1000円・会員1名とのペア(2名)2000円
○ファーストディ 一般1200円 会員・障がい者1000円

〈伊藤高志「劇映画特集」〉

一般1500円 シニア・大学生・会員・ペア1300円 シニア&学生会員・障がい者1100円 高校生以下1000円
※木曜は、会員・障がい者1000円。

会員募集

お申込日から1年有効で2000円。
会員特典は当日ご料金の割引のみになります。
受付は劇場窓口にてお願いいたします。

『日泰食堂』

香港から船で30分ほどの小さな島、長州。港に多くの船が浮かぶ漁村に、一軒の食堂がある。日泰食堂。古くから島の人々が憩い、ビールを飲みつつ麻雀やトランプを楽しんだり、談笑したり。そしてまた、人々の情報ステーションでもある場所。のどかな島にも、近年の香港の動乱の映像はテレビから届き、現実も大きな波から無縁とは言えない。長州出身の新進映画監督フランキー・シンが、故郷への愛着をこめて、過去と未来を見据えて初めてのドキュメンタリー映画を仕上げた。(83分)

没後40年アンドレイ・タルコフスキー 超域の映像2026

5プロ/入替

ソ連が生んだ不世出の芸術家、アンドレイ・タルコフスキー。晩年はイタリアに亡命し、それでも故郷を偲ぶ傑作を残して客死したが、彼のソ連時代の監督作を大特集。陽の光や風さえも意のままにするかのような魔術的な演出は、他の追随を許さない。その卓越した映像美がSFジャンルの枠を大きく飛び越えて結実した『惑星ソラリス』(165分)や『ストーカー』(163分)、詩人であった父親を投影した自伝的な映像詩『鏡』(110分)、15世紀のイコン画家を中心に壮大な歴史劇『アンドレイ・ルブリョフ』(182分)、そして初期のリリカルなセンスが煌めく『ローラーとバイオリン』(46分)『僕の村は戦場だった』(94分)。

『ゆずり葉の頃』

巨匠・岡本喜八監督をプロデューサーとして支えた中(岡本)みね子、2014年の初監督作。初公開は岩波ホール。昨年急逝された仲代達矢氏の追悼公開となる。少女時代に想いを寄せた宮(仲代)の個展の報せに誘われるように記憶を秘めて軽井沢へ旅立つ市子(八千草薫)…。女優に加え岸部一徳、竹下景子、嶋田久作が脇を固める。音楽は山下洋輔、美術・絵画・衣装(着物)など選りすぐった逸品が彩る。(102分)

『ビトゥーカ ミルトン・ナシメント フェアウェルツアー』

「ブラジルの声」と呼ばれボサノヴァ以降のブラジルのポピュラー音楽を牽引し、海外でも数多くの音楽家を魅了し共演を果たしたミルトン・ナシメント。「ビトゥーカ(吸い殻)」は煙草を吸うように尖らせた唇に由来する幼少期からの愛称だ。本作は2022年、80歳を迎えステージ引退を発表した世界規模の送別ツアーを記録。カエターノ・ヴェローゾ、クインシー・ジョーンズ、スパイク・リー、ステューヴ・ジョーダン、パット・メセニー、セルジオ・メンデス、ジルベルト・ジル、ジャヴァン、ポール・サイモン、ハービー・ハンコック、エスペランサ・スポルディングらアーティストの取材、移り変わるツアーの世界と原風景ブラジル/ミナスをミルトンの視点で見つめる撮影も魅力的だ。盟友ウエイン・ショーターとの再会が胸をうつ。(115分)

『PEAK END』

芸大で出会ったリン(監督:リン・チェリン)とそら(伊丹そら)。韓国と沖縄、それぞれ故郷があるけれど今は京都で学びながら、生きている。二人でいると自由は広がる、転がる。だけど時には…。若さに向き合い好奇心を大切に育てている二人の冒険を時に親密に時に客観する撮影、そして本州を飛び立ち沖縄へ向かう後半が素晴らしい。第47回びあフィルムフェスティバル入選作が待望の劇場公開!(120分)

ロベール・ブレッソン傑作選

5作品/入替

素っ気なく研ぎ澄んだ表現形式を選び、ギョーム・ブランク、カウリスマキ、タルコフスキー、ノーランといった巨匠を魅了するロベール・ブレッソン(1901~1999)の作品を新たな字幕とレストアを施した新版で上映。ドストエフスキー『罪と罰』をもとに描き最小限のカメラワークと緊密な編集による美が今も絶賛される『スリ』(76分)。小さなロバを慈しんだ少女自身にも待ち受ける苦難を綴る傑作『バルタザールどこへ行く』(96分)。貧しい家庭の少女が精一杯の抵抗で運命に向かっていく『少女ムッシュ』(82分)、ドストエフスキーの小説舞台を70年代のバリに移し、セーナ河畔の美を永遠に刻む『白夜』(83分)。パスカルの肖像が印刷された一枚の偽札から雪崩のように悪が首を突き進み、遺作にして最高傑作『ラルジャン』(85分)。

『MOTHERLAND マザーランド』

90年代、ソ連/ロシアからの独立を回復したりトニアのある村。失った土地を取り戻し、新たに人生を始めようとする母に連れられてきた、12歳のアメリカ人コヴァスのまなざしを通してひと夏の様々な経験と想いを鮮やかに描きだす。トマス・ヴェリグ監督もテレンス・マリック、ケリー・ライカートの元で編集助手を務めたリトアニア移民の息子で、自身の(リトアニアへの旅の追憶)とも言えるだろう。(96分)

伊藤高志 劇映画特集

5プロ/日替

大学で松本俊夫に師事し、その技術力と明晰なコンセプトで国内外に知られるインディペンデント実験映画の旗手、伊藤高志監督の「劇映画特集」。映画館初公開の新作『遠い声』(53分)、初長編『零へ』(72分)など日常とシュールな幻想を越境する傑作ほか、視覚喜ぶ圧倒的な短編集をも一挙公開。必見です!

新宿ハードコア傑作選

『トゥインクル・トゥインクル・キラール・カーン』 『オニオン・フィールド』

2作品/日替

新宿の夜を賑わせた異色のカルトサスペンスが登場!『エクソシスト』の原作者、ウィリアム・ピーター・ブラッチが原作・脚色・監督を務めた『トゥインクル・トゥインクル・キラール・カーン』は、人里離れた古城の療養施設を舞台に、幻覚と現実を縦横に行き来しつつ閉塞感まる狂気のカルト映画。(118分)

実際の警官射殺事件を元にした『オニオン・フィールド』は、ジェームズ・ウッズの狂気に翻弄される一編。映画の話題が現実の事件のその後も影響を与えたというイワク付き。(120分)

『イート・ザ・ナイト』

長く没頭してきたオンラインゲーム(ダークソーン)のサービス終了予告をきっかけに、兄パブロと妹アポリニアの生活は大きく動き始める。ドラッグディーラーのパブロは、運命的に出会った青年ナイトと関係を深めながら、面倒ごとに巻き込まれる。ゲーム世界同様に現実の暴力は激化し、3人の関係は引き裂かれ、状況は絶望的になるが、この世界にリスタートボタンはない。閉じられていくゲーム空間で響く声も闇の中に溶けていき、暗い夜が現実を暗示する。(107分)

『聴く隣人のいるところ』

島根県にある、日本で一番小規模な全寮制の愛真高校。生徒の自主性を重んじる校風は、キリスト教の建学の精神に基づく。OBでもある早川剛監督は、後輩たちの日常を丁寧に捉えようと試みている。各学年10数名、総勢40人に満たない生徒たちの寮生活は携帯電話の所持も許されず、現代社会から隔絶されているかもしれないが、共同生活の基盤からひとつづつ話合って解決する姿勢には感心するばかりだし、彼らの意見を尊重し、支えようとする教員の真摯な姿勢からは学ぶべきことが多い。昨年亡くなった本橋成一(写真家・映画監督)最後のプロデュース作品。(111分)

next arts 通信

驚異の部屋の私たち、消滅せよ

大阪中之島美術館での「驚異の部屋の私たち、消滅せよ。一森村泰昌 ヤノベケンジ やなぎみわ」展は、賑々しいパワーを発揮して開催中だ(7/20まで)。森村(1951-)、ヤノベ(1965-)、やなぎ(1967-)は関西を拠点に国際的な活躍を展開し続けており、京都市立芸術大学出身などの共通点も多い。この三人が集結して公立美術館での初の大規模三人展となると、もはや競演と共演に振り切った真骨頂と言った良いだろう。

「博覧会は子供の領分」(ヤノベ)、「広場にパノラマ絵画奇譚」(森村)、「坂道のオード(讃歌)」(やなぎ)の各三室が続き、第4室「迷宮を紡ぐ厳肅な綱渡り」で三人の最新作が。特に森村の「境界線上の舟遊び(木谷千種「浄瑠璃船」のために)」は、男女8人全員になりきる森村のお家芸、ここにあり。

第5室「絶望するな。では、失敬。」は真っ白な空間での約15分のパフォーマンス作品だった。講談師、ダンサー、パントマイム俳優など、18組のパフォーマーによる「語り」で、会期中毎日5回の上演メニューが組まれているというから驚きだ。三人それぞれの脚本があるが、鑑賞者が何に遭遇するかはわからない。賑々しい展覧会のエピソードは、「消滅美術館」の余韻だった。

【トト】

無知の知

(その15) 生命操作の今

遺伝子操作の技術が進化し、人類は今新たな時代を迎えようとしている。内閣府のホームページには合成生物学は新たな産業革命、という記述がある。人類は石油や石炭の利用技術の発展によって産業革命を起こし、近代社会を築いた。しかし今、石油の枯渇や温暖化対策、マイクロプラスチックの問題等でこのままでは経済の発展が行き詰まる、という認識が広がっている。その打開策として登場したのが遺伝子操作をはじめとする新たな生命操作技術だ。遺伝子を自由に操作出来ればこれまで不可能だと思われていた事も可能になる。温暖化対策として稲や麦などの作物の高温でも育つ品種開発は既に行われている。京都大学の山中教授が開発し、ノーベル賞を受賞した ips 細胞の技術を使えば血液細胞から卵細胞が作れ、動物実験ではメス同士やオス同士のネズミから子どもを作れるようになった。現在、人工子宮の研究が盛んに行われており、実現すればロボットに子どもを産ませる時代も視野に入ってきた。アメリカの巨大企業のオーナーが自分の遺伝子を持つ子どもを千人作りた、などと言う時代だ。新たな産業革命は地球と人類の未来に何をもたらすか。経済は発展し人類は滅びる時代が来るかも。(K)

『わたしの聖なるインド』

2019年インド。台頭するヒンドゥー至上主義に脅かされたデリー南部のイスラム教徒居住区のシャヒーン・パークで大規模な座り込みによる道路占拠が始まった。中心になったのはムスリムの女性たち。100日以上も幹線道路を封鎖した非暴力で平和的な活動はインド全土に広がったが、地方選挙を機に状況は悪化、警察による弾圧が始まる。

山形国際ドキュメンタリー映画祭で市民賞(観客賞)受賞の話題作がよいよ公開。(74分)

ホセ・ルイス・ゲリン監督最新作

『よき谷の物語』

ホセ・ルイス・ゲリン監督最新作は、バルセロナ郊外のバルボナ地区(直訳すると、よき谷)に住む人々に「映画を作るなら?」と問いかけたインタビューを通し、街の成立から現実的な数多の問題を紐解いていく不思議な構成のドキュメンタリー作品。一見朗らかな暮らしとして重奏される人々の物語は、いつしか現在進行形の鉄道拡張に伴う立ち退きや工事期間の不自由さに変奏され、美しい自然環境に囲まれた景観が永続するものではないことにも直面する。ペドロ・コスタとは全く異なるスタイルと手法で、ゲリンもまた、世界の片隅から現在の世界を見つめる。(122分)

あいまい、まいにち、こんにちは

2026年6月末で「損保ジャパン 人形劇場ひまわりホール」が閉館する。1989年の開館から、37年の歴史を刻んできたという。受付にひまわりのマスコットキャラクターのオブジェがあり、来場者をやさしく出迎えてくれた。さまざまな作品が上演され、多くの人に親しまれてきたホールがなくなってしまうことをとても寂しいと思う。

鑑賞した作品で特に印象に残っているのは、チェコのアルファ劇場による『三銃士 THE THREE MUSKETEERS』だ。多くの人形が登場するが、一体一体の顔には個性があり、衣装も豪華。コミカルな演出と、巧みな仕掛けに生演奏でとても楽しい作品であった。

話は変わるが、2026年10月から名古屋市の文化施設等の利用料金が値上げされる。劇場や稽古場を日常的に利用する身としては痛手ではあるが、米の値段も高いご時世、職員の生活もある、物価が高騰すれば施設維持費も上がる、値上げは自然な流れと思うが、芸術文化活動から人を遠ざけるのではなか、という懸念も耳にする。

私は、舞台芸術は、まず「場所」がなければ始まらないと考えている。その場所は、設備の整った劇場かもしれないし、スタッフが親身になってくれるアトリエかもしれない。あるいは、商店街の小さな空きスペースかもしれない。そうした場所を守り、支えている人たちがいるからこそ、文化は育まれていくのだと思う。そのことへの感謝を胸に、これからも活動を続けていきたいと、あらためて感じている。

(i)

ウニタ書店情報 (052-731-1380)

1970年代から90年代にかけて、大学受験予備校は全盛期を迎えていた。河合塾・代々木ゼミナール・駿台予備校の三大勢力が、競って全国展開を推し進める一方で、地方の中規模校もそれぞれのカラーを打ち出して存在感を示していた。しかし、その後は18歳人口の減少が続き、入試制度の多様化や受験生の現役志向の高まりもあいまって、苦境に立たされるようになった。2月刊行の「予備校盛衰史」(小林哲夫著、NHK出版新書)は、明治時代の草創期から、拡大・爛熟・淘汰の今日に至る歴史を詳しく綴っている。各予備校の特徴や、人気講師の授業風景の紹介など、膨大な資料を渉猟し、教育的側面だけでなく、文化的側面にも紙幅を割いている。ある講演会で蓮實重彦氏が予備校を「不気味なアナキズム」と評したように、受験指導だけでなく、多様な研究・啓蒙活動も展開されていた。「予備校文化」と言われる所以である。その一つに河合文化教育研究所がある。研究員に廣松渉氏や渡辺京二氏らを迎え、講演や研究を通して、塾生の幅広い視野獲得を目指し、また様々な分野の研究会も組織されていた。惜しくも2023年3月に閉所となったが、その果たした役割は高く評価されている。現在でも河合ブックレットとして、その成果を知ることができる。今後、予備校はどこへ向かうのだろうか。公教育の補充物に留まらない存在感を示してほしいものだ。

いなかのじけん

山の相続人

庭でBBQをしてたら、親戚が訪ねてきた。宴に参加希望ではない。「わたし、この近くの山を相続したんですけれど、どの辺か分かりますか。一応行ってみたくんですけど、全然分からなくて。」地図を見せてもらってもさっぱりだ。「沢」が一本通っているきりで、他に手掛かりなし。「すみません、何の手助けにもならなくて。」彼女のように相続して登記してくれる人は、いい。ほつたらかして、誰のものか分からなくなった山は難儀だ。災害を防ぐために手入れしようにも、地主さんの了解を得ないといけないので、それもままならない。

後日、家にある地図「土地宝典」で地番を頼りに探してみる。ここかつ、ウチの持っている山の隣だ。

父方の祖父はちよいと遠くに住んでいて、毎年夏祭りの日にバスを乗り継ぎやって来た。ごく軽装備で山に入り、夕方戻ってくる。風呂に入り、ちらし寿司で晩酌し、翌日また山に入り、夕方バスで帰って行った。その二日間、わが家一年分の風呂の薪を作ってくれる。それを取りにしようか背負って父と山に入る。「ろっこんしょーじょー、イノシシと間違われて撃たれるといかんでなー、ろっこんしょーじょーって言いながら行くんだ。」「ろっこんしょーじょー」

おおつ、この山はきつと“ろっこんしょーじょー”だ。風呂も新しくなり、薪は不用に、あの山道も木々に埋もれているだろう。林だった山も森に様変わりしているだろう。猟師もいなくなり、イノシシに追われる、あの山だ。

**ナゴヤ
キネマ・
ノイ**

協力店

NAGOYA
KINEMA
NEU

みその皮膚科医院
Misono Dermatology Clinic
【院内処方 / 保険診療】

診療時間
午前 10時~13時・午後 15時~20時
毎週土曜・日曜・祝日休診

地下鉄伏見駅①番出口より徒歩2分

☎052-232-2214
http://www.misonohifu.com/

**BAR
パルク**
(円頓寺 Les piliers 併設)
演劇、映画、アート、音楽をつまみに

名古屋市区那古野一丁目18-2
090-1620-4591(加藤)

国際センター駅②出口から徒歩5分
丸の内駅⑩出口から徒歩8分

不定休
詳細はツイッター@perkypat1962

GOOD BOOZE CHEAP FOODS & HIP MUSIC

Takuzan は
朝までやってる
呑み屋である。

052-733-3709
年中無休 pm6:00~am5:00
シネマテークより北、広小路通へ
抜ける手前の青いビル 2F

open house
Analog Recordと
Restaurant Bar

052-753-4300
火曜定休 pm6:00~am1:00
シネマテークより東、環状線に
抜けた角、中屋バン地下 1F

**JAZZ
MATILDA**
DRINK & FOOD

●丸栄 入江町通
●かに本家 三蔵通
●フリンセス 白川通
●カデノンホテル

●黒髪に入れる小さなお店です
●お一人様大歓迎。●日・月曜定休 ●席料 ¥500
●オーダー ¥300~ ●営業時間 19:00~24:00
名古屋市中区栄三丁目9番22号グランドビル5F
☎052-263-6272

**パンクをしたら
DAISY**

052-228-0977

急ぎの荷物も当日お届け!
自転車便・自転車出張修理
デイジーメッセンジャー
名古屋市中区新栄 2-2-19

Hair Salon **VARIÉTÉ**
WEB: http://variete.hp4u.jp

ヘアサロン バリエテ

※営業時間
平日 11:00~21:00 土日祝 10:00~19:00
※定休日
月曜・第3月火曜連休

千種区池下 1-6-20 ☎751-7774
(チサンマンション池下203号) 1Fに「トゥリエール」のあるビル

感じる、考えるひとのための本屋

bookshop & gallery
ON READING

www.onreading.jp
on_reading

地下鉄本山公園駅 2番出口より徒歩1分

ろかげさまで19周年 女性専門
からだほぐし&足つぼ

みずたま

10:00-20:00
火曜・第1/3水曜休
本山駅6番出口すぐ
052-781-8239

アリガト

髪切って、凛とする。

〒464-0074
千種区中田2-18-23
052-761-7723

SHIMAUMA BOOKS
シマウマ書房

ナゴヤキネマ・ノイから東へ
徒歩5分。古本屋です。

名古屋市中千種区今池 5-14-3
11:00-18:00
定休日 火水
www.shimauma-books.com

アンティーク・リサイクル着物&カフェ

蘭丸

ウール400円~、正絹小紋2500円~
名古屋帯2500円~、半幅帯300円~
小物やオリジナル商品もございます。

キネマ・ノイより、南へ徒歩2分
052-735-6053
p.m.1:00~7:00 / 火曜・水曜定休
名古屋市中千種区今池3-2-9 マビルディング1階

骨董・古書・美術品

こもれび

鑑定・買取

昭和区 桜山
052-853-1961

静寂の珈琲店
読書珈琲リチル

地下鉄今池駅徒歩1分

愛知県産
農業・化学肥料ゼロ栽培

野菜

まずは、お試し野菜セットから
お申込みはホームページ / お電話で
tel 052-851-7200

くらしを耕す会 検索

天然酵母パンとお野菜中心のお昼ごはん

**鞠奴パン
食堂**

●営業日 / 木・全曜日 am11時半~pm4時
緑区鳴海町鈴の木31-2 TEL080(4301)3102
鍼灸「ハリのむしろ」も併設

中国伝統鍼灸・冷えとり健康法

**帰来堂
鍼灸療院**

地下鉄池下駅1番出口すぐ
9:30-18:30 (最終受付) 不定休
052-752-7817(予約制) kiraido.com
千種区池下1-11-7 MEBビル202

おもしろ 楽し
三味線教室

無料体験しませんか
きよもと みゆひろ
清元美哉廣

090-6369-7795
otanesan9@gmail.com
桜山駅近く

星屑珈琲

群れない魂の止まり木

静かな夜型喫茶

ナゴヤキネマ・ノイから168歩

本と酒
ANZAI COVERDOCK
安西コブド

19時~27時
不定休

ホフェッシュ・シエクター・カンパニー

轟くビートと
ダンスのうねり!
悪夢か、
それとも希望か—

Theatre of Dreams
シアター・オブ・ドリームズ

10月16日(金) 13:30・17日(土) 15:00
愛知県芸術劇場大ホール (愛知芸術文化センター2階)

お問合せ 愛知県芸術劇場 052-211-7552 Email: contact@aaf.or.jp

印刷のことなら何でもご相談ください。

http://mokumoku.asia

名古屋中瑞穂区 tel 052-852-7611

名古屋シネマテークの
支配人平野勇治の遺稿集

平野勇治 著
安住恭子 発行

小さな映画館から
1650円(税込)

ウニタ書店・ナゴヤキネマ・ノイで販売中

たまさかの古本屋
シマウマ書房の日々

鈴木 創 著

2200円(税込)
亜紀書房/発行

12月9日発売 各書店にて

Free Palestine!

私たちにできること